

男女共同参画推進連携会議ポジティブ・アクション小委員会

父親の育児支援事業の活動と効果について



NPO法人ファザーリング・ジャパン
代表 安藤 哲也

2011年6月13日 内閣府

FJ代表・安藤プロフィール

安藤哲也(あんどう・てつや)

- ▶ 1962年生まれ。現在、13歳(女)、10歳(男)、3歳(男)の父親。
大学卒業後、出版やIT系企業で働く。
06年11月、会社員の傍ら、父親の子育て支援・自立支援事業を展開するNPO法人ファザーリング・ジャパン(FJ)を立ち上げ、代表に選出・就任。現在に至る。
- ▶ 地域では、保育園、学童クラブの父母会長、小学校のPTA会長
- ▶ を務めるほか2003年より、パパ's絵本プロジェクトのメンバーとして、
- ▶ 全国の図書館・保育園・自治体等にて、パパの出張絵本おはなし会を開催中。
- ▶ NHK「ラジオビタミン」レギュラー出演中。著書に『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』(NHK出版)、『絵本であそぼ!』(小学館)、翻訳絵本に『ぼくとおとうさんのテッド』(文溪堂)などがある。
- ▶ 主な委嘱委員・・・ **厚生労働省イクメンプロジェクト推進チーム**座長/内閣府・社会保障改革会議/内閣府・ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム/**内閣府・男女共同参画推進連携会議**/国土交通省観光庁・休暇改革国民会議/東京都・次世代育成支援検討委員会/東京都・子育て応援とうきょう会議/文部科学省・父と子の愛着形成プログラム研究委員会/厚生労働省・男性の仕事と育児の両立意識啓発事業委員会/内閣府・少子化社会対策に関する先進的取組事例調査研究会/内閣府・認定こども園制度の在り方に関する検討会/松戸市・男女共同参画推進協議会/埼玉県地域家庭教育推進協議会/電通ジセダイ育成委員会/にっぽん子育て応援団団長/自治労・男女平等推進委員会



特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン(FJ)概要

Fathering
Japan



「Fathering＝父親であることを楽しもう」という考えを持つ若い世代の父親を支援。働き方の見直し(WLB)や企業の意識改革、地域社会の再生など父親育児の環境づくりと次世代育成を目標に、セミナー、スクール、検定、旅行、出版などさまざまな父親支援事業を展開。また父子家庭支援や男性の育休取得推進など政策提言としての活動も行う。 www.fathering.jp

★設立:2006年11月
個人会員:201名(パパ95%)
法人会員:18社
サポーター会員:7,400名
(2011年5月現在)



ファザーリング・ジャパン（FJ）の事業

- ・セミナー、ワークショップ、フォーラムの開催
- ・ファザーリング・スクール(父親学校)の開講(09年10月～)
- ・個人、企業の意識(実態)調査、子育てパパ力検定の主催
- ・父親コミュニティ、ネットワーク形成、父子キャンプの開催
- ・若年層(次世代パパ)へ啓発授業@大学・高校、FJS支援
- ・企業提携(研修、事業アライアンス、コンサルティング)
- ・父子家庭支援(フレンチトースト基金)
- ・産後うつ予防(ペンギンパパプロジェクト)
- ・男性の育休取得推進(さんきゅーパパプロジェクト)
- ・中高年男性のエンパワーメント(イクジイプロジェクト)
- ・児童養護施設の成長&自立支援(タイガーマスク基金)
- ・東日本大震災特別支援活動(パパエイド募金)

父親の子育てを支える環境づくり

●行政・自治体

法制度の整備、多様な父親支援プログラムの実行、
役所から意識改革を～公務員(男性)が育休を取得を！

●企業

就労環境の改善、制度改革、評価基準の見直し
父親研修の導入

●地域社会(保育園・学校・学童クラブ、町会、NPO)

コミュニティの活性化、父親ネットワーク

●家族

親世代の固執意識や「門番としての母親」を変える



FJセミナー



F Jワークショップ



F J パパごはん教室



ファザーリング・スクール (父親学校)



＜カリキュラム＞
パパの育児参加と子どもの成長
ワークライフバランス
絵本・あそび
パパごはんの作り方(料理教室)
産後ケア
ママの心のつかみ方(パートナーシップ)
ファイナンシャル(子育てとお金の話)
育児と社会問題
地域・コミュニティづくり
ファザーリングの極意
パパ・ブランディング
修了式
放課後(交流会)

F J ツアー (父子旅行)



男性（パパ）の子育ての悩み・課題

▶ ① 仕事が忙しくて育児時間が取れない

- 日本の男性の育児時間は1日平均30分
 - 子育て期の男性の4人に1人が週60時間以上の超長時間労働（都市圏）。
 - 男性の育児休業取得率1.56%(07年)→1.23%(08年)
 - 過労やストレスによる、うつ・自殺が急増。
 - 育児と仕事を同等に重視したい、WLBを実践したい男性は7割いるが、現実には仕事優先の人が7割。
-



男性の子育ての悩み・課題

▶ ②子どもとどう向き合っていていいか 分からない

- 抱っこができない。一緒に遊べない。どう接していいか分からない。叱り方が分からない。可愛くない。
- 子どものころに群れ遊びをしてない、モノ消費中心文化の世代が子育て期へ



男性の子育ての悩み・課題

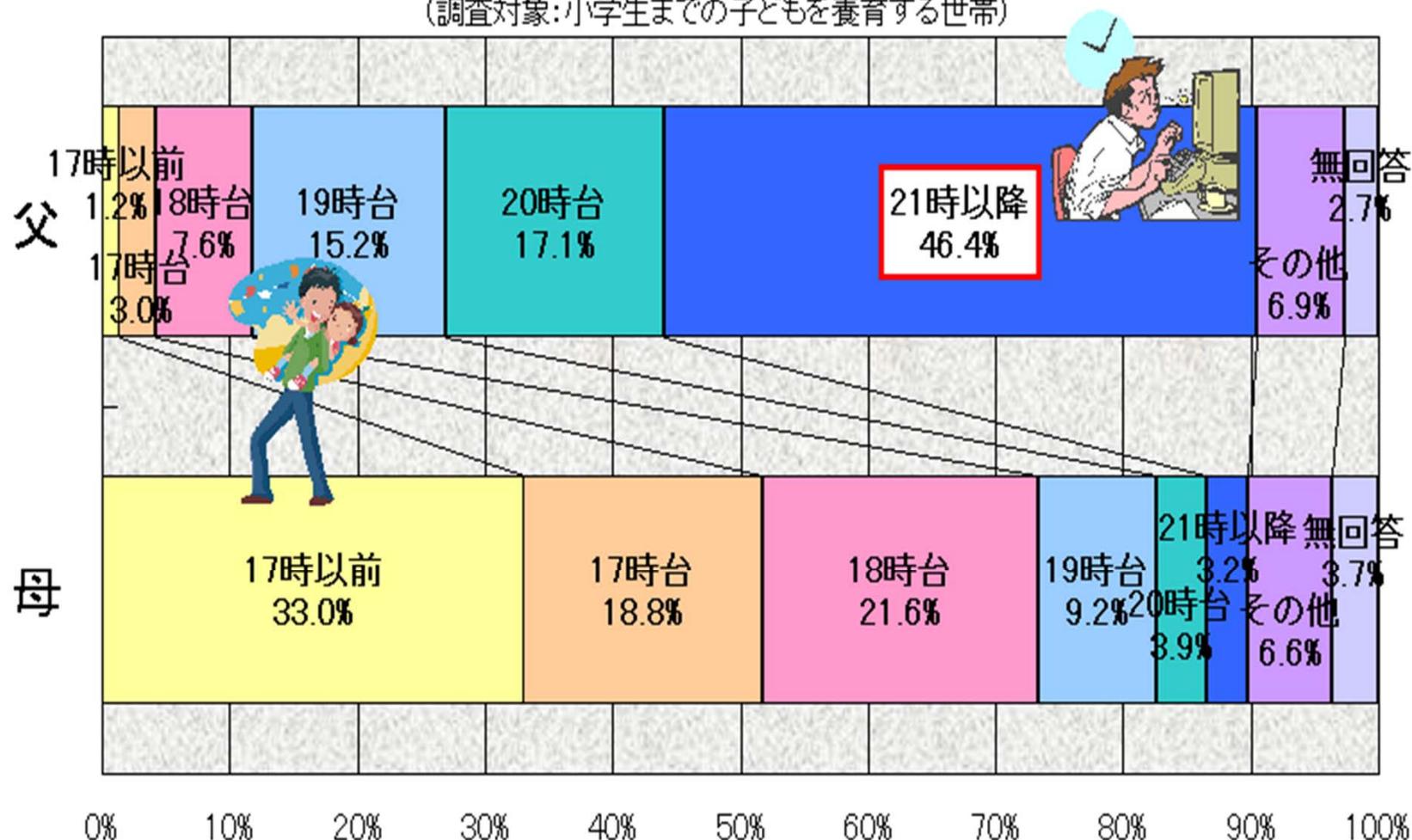
▶ ③子どもが生まれてから、夫婦関係が悪化した

- ・子どもが生まれると妻と夫では大事なものが違ってくる。
- ・夫婦関係の悪化が子育てに及ぼす悪影響に気づかず、子どもの荒れ・非行が深刻化。



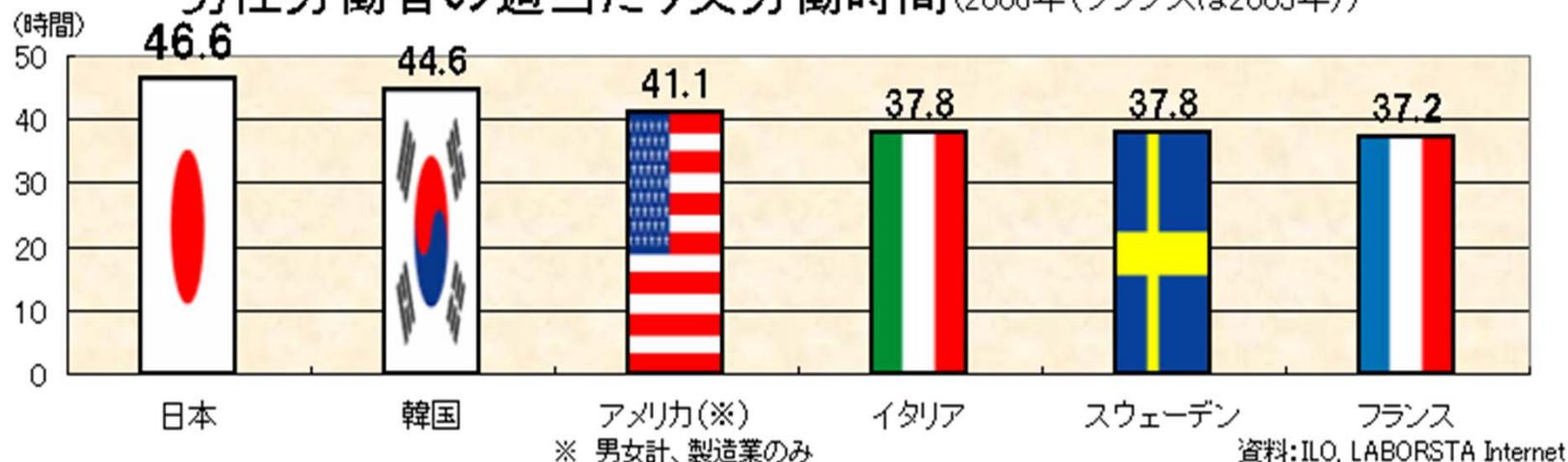
パパ、ママは何時に帰っている？

(調査対象:小学生までの子どもを養育する世帯)

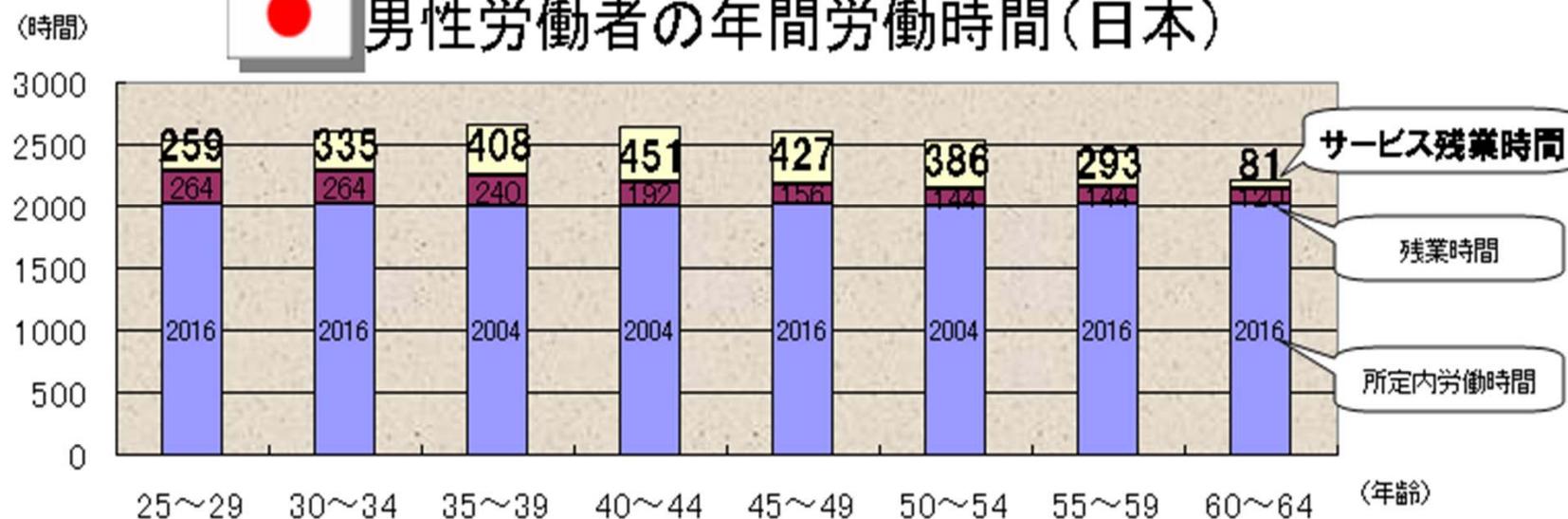


資料:平成19年度東京都福祉保健局基礎調査「東京の子どもと家庭」(速報)

男性労働者の週当たり実労働時間(2006年(フランスは2005年))



男性労働者の年間労働時間(日本)



資料: 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」2006年及び総務省「労働力調査」2006年を基に(株)富士通総研経済研究所主任研究員渥美氏作

父親が育児に関わるメリット

- ・母親の育児ストレスが軽減される。
 - ・夫婦関係(パートナーシップ)が強まる。
 - ・子どもの成長にいい。言葉や社会性が早く身につく。子どものよきモデルとなる。
 - ・自活力がつく。地域に友達も増え、定年後～老後も安心。
 - ・仕事で有効な能力も身につく。アイデアが仕事に活きる。
 - ・父親自身の世界が広がり、人生が楽しくなる。
-



笑う父親になるための、 ファザーリングの極意6カ条

子どもができたらOS(父親ソフト)を入れ替えよう

義務から権利へ。客体から主体へ。さらば「家族サービス」

男の育児は、質より量。イトコドリ育児をやめよう

子育てパパは仕事もデキル。育児で備わる3つの能力

パートナーシップの構築～妻の人生は、夫のものではない

地域活動を通じて、シチズンシップを獲得しよう

イクメン（育児に積極的な男性）が急増！

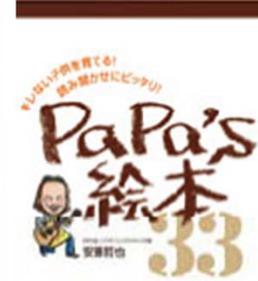
育てる男が、家族を変える。社会が動く。



厚生労働省イクメンプロジェクト



パパ向け育児雑誌も人気



TAKASHIMAYA x IKUMEN



百貨店もイクメングッズ販売を強化



グラシムフonia
戸田公園
GRANSYMPHONIA

子育て支援マンションで、パパ向けセミナー

なぜいまイクメンに注目が！？



社会構造・経済状況・ライフスタイルの変化で子どもを産み育てることが難しくなってきた。

＜出産・子育てが困難になる日本の状況＞

- ・非婚、不妊、晩婚(晩産)→少子高齢化社会、労働力減
- ・離婚(年間25万件)→ひとり親家庭の増加
- ・育児ノイローゼ(産後うつ)、虐待、教育問題
- ・家族モデルの多様化(核家族化75%に)
- ・都市化/マンション化(地域社会の機能不全)
- ・縮む経済・伸びない所得(必然的に増える共働き家庭)



★旧来の男女役割や働き方の見直し→父親の育児・家事

▶ 参加、女性の社会進出

日本の女性が子どもを産むことへの4大不安

1位 仕事と育児の両立ができるかどうか？

2位 いまの社会環境では安心して子育てできない

3位 自分の時間がなくなってしまう

4位 「母親」へのプレッシャー＞自分の意識



イクメンに熱い注目が！



専業ママたちの悩み

1位 夫のこと(育児・家庭への無関心、浮気、暴力etc)

2位 自分のこと。社会的隔絶感(アイデンティティ・クライシス)

3位 姑との関係

4位 近所のママ友との関係



理解のある夫(イクメンパパ)がいてくれたら...



父親支援をめぐるネットワークの相関図

国・自治体

- ・男女共同参画
- ・子育て支援
- ・労働政策
- ・社会教育
- ・生涯学習

各NPO

- ・子育て支援
- ・父親支援
- ・母親支援
- ・ひとり親家庭支援
- ・中高年のエンパワーメント



ファザーリング
II
父親であることを楽しむこと
パパが育児参加できる
環境作りの強化

企業

- ・人事部
- ・労働組合
- ・ダイバーシティ推進

学校・地域

- ・PTA活動
- ・キャリア支援
- ・自治会活動

**期待される
成果**

男女共同参画社会の実現・
ワークライフバランスの推進

地域の活性化・
持続可能な共生社会

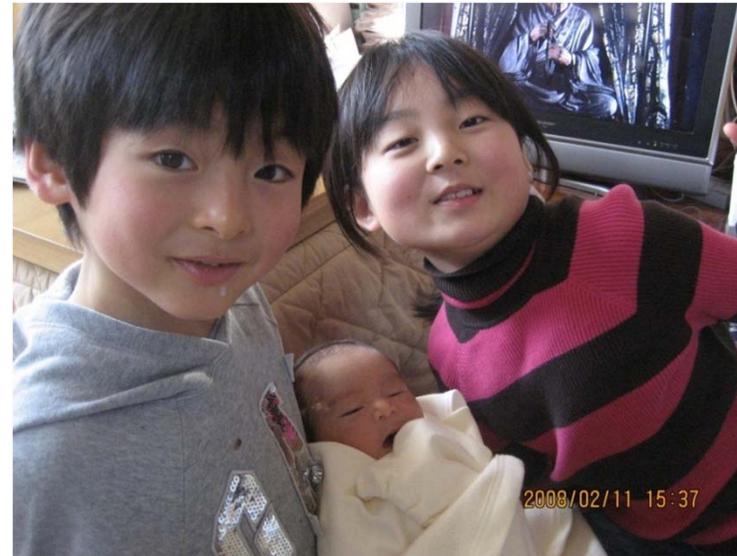
人材の獲得と有効活用・
企業の生産性向上

児童虐待・産後うつ・
離婚・DVなどの予防

少子化の歯止め・
女性就業率の向上

...etc

父親が変われば、
家庭が変わる
地域が変わる、
企業が変わる、
そして、社会が変わる。



Fathering Japan

